

令和2年度学校評価の結果と考察

小野市立小野東小学校

昨年末に実施しました保護者、児童、教職員による学校評価アンケートをもとに、今年度の教育活動について自己評価及び学校関係者評価を行いました。

◆ 保護者向けアンケート集計結果

全22項目の肯定的評価を示します。肯定的評価とは、質問に対して4段階評価の4・3に回答された合計です。

- 4 そう思う
- 3 どちらかという、と思う
- 2 どちらかという、思わない
- 1 思わない

表の右2列は肯定的評価の割合です。 (単位%、以下同じ)

番号	項目	R2	R1
1	お子さまは、学校へ行くのを楽しみにしている。	92.3	93.5
2	お子さまは、学校で学んだことを理解している。	92.9	91.5
3	お子さまは、授業に集中して取り組んでいる。	90.3	86.2
4	お子さまは、困ったことや悩みごとがあると、教員・家族・友達など誰かに相談するようにしている。	88.5	72.1
5	お子さまは、学校のきまりを守って生活している。	96.2	96.1
6	学校は、お子さまが分かるように、授業やおの検定、複数の教員による指導などの学習指導を行っている。	96.8	95.4
7	学校は、お子さまの間違った行動を適切に指導している。	96.0	94.0
8	教科担任制や期末テストなど小中一貫教育の取組により、お子さまは中学生になることを楽しみにしている。	74.1	71.5
9	学校は、あいさつや言葉づかい、場に応じた服装で、節度ある態度・行動をとっている。	95.7	96.4
10	学校は、学校だよりやPTA総会、懇談会等で、教育方針を分かりやすく伝えている。	94.6	94.8
11	学校は、道徳教育や人権教育、学校生活を通じて、豊かな心を持った子どもを育てようとしている。	94.7	96.0
12	お子さまは、忘れ物がないように気をつけている。	86.8	86.0
13	お子さまは、家庭学習や自主学習に取り組んでいる。	89.0	91.5
14	お子さまは、安全に気をつけて登下校している。	96.3	96.1
15	お子さまは、自転車に乗るとき、ヘルメットをかぶっている。	95.8	92.2
16	お子さまは、自分のよいところを知っている。	87.9	87.5
17	お子さまは、テレビやゲーム、ネット動画の時間を決めている。	65.8	71.3
18	学校だより(ひがしっ子)や学年・学級通信など配布された文章を見ている。	95.8	95.4
19	お子さまの教科書やノートを見ている。	78.7	73.1
20	学校行事や授業参観などに、参加している。	97.7	97.8
21	お子さまと話をする時間を、毎日もっている。	98.0	96.7
22	お子さまの友達関係を、把握している。	91.4	90.2

全22項目中15項目で、肯定的評価が90%台と高い評価を得ました。

教員に関する項目6番「学習指導」(96.8)、7番「間違った行動への指導」(96.0)、9番「節度ある態度・行動」(95.7)は高く、信頼を得ているものと考えています。

また、10番「教育方針の周知」(94.6)、11番「心の教育」(94.7)についても高い評価を得ております。これは、18番「配布物の確認」(95.8)、20番「行事・学習参観等への参加」(97.7)、21番「お子さまと毎日話をする」(98.0)、22番「友達関係の把握」

(91.4)により、保護者の皆様が、学校教育への高い関心とお子さまへの関わりを大事にされていることの表れであると感謝しております。

◆ 児童向けアンケート集計結果

全14項目中、肯定的評価90%台が10項目、80%台が4項目、70%台はありませんでした。6番の学習指導(98.7%)や7番の間違った行動への指導(99.4%)について肯定的評価が高く、保護者の回答と同様の傾向となっています。

一方、平日のテレビやゲーム等の利用時間が2時間以上と答えた児童は27.5%(昨年度23.9%)で、昨年度比3.6ポイント増加しました。今年度は、全国的な感染症の状況により家庭で過ごすことも多く、ネット環境への関わりについては、さらに対策を講じる必要があります。

◆ 保護者・児童・教員の三者比較

保護者、児童、教員の肯定的評価が90%以上の項目は、共通14項目中8項目ありました。

番号	項目	保護者	児童	教員
1	お子さまは、学校へ行くのを楽しみにしている。	92.3	93.3	100.0
2	お子さまは、学校で学んだことを理解している。	92.9	96.6	100.0
3	お子さまは、授業に集中して取り組んでいる。	90.3	95.5	91.9
5	お子さまは、学校のきまりを守って生活している。	96.2	95.8	94.7
6	学校は、お子さまが分かるように、……学習指導を行っている。	96.8	98.7	100.0
7	学校は、お子さまの間違った行動を適切に指導している。	96.0	99.4	100.0
14	お子さまは、安全に気をつけて登下校している。	96.3	95.2	100.0
15	お子さまは、自転車に乗るとき、ヘルメットをかぶっている。	95.8	97.9	100.0

また、他にも児童、保護者、教員の肯定的評価の数値の違いが10ポイント以内の項目は、4項目ありました。三者の評価が比較的近いことは、指導とその結果が近いと考えられます。平成29年度から推進している自転車乗車時のヘルメット着用が95%を越えました。

番号	項目	保護者	児童	教員
4	お子さまは、困ったことや悩みごとがあると、教員・家族・友達など誰かに相談するようにしている。	88.5	88.7	97.3
8	お子さまは、中学生になるのを楽しみにしている。	74.1	81.9	73.0
13	お子さまは、家庭学習や自主学習に取り組んでいる。	89.0	97.8	97.3
16	お子さまは、自分のよいところを知っている。	87.9	89.2	97.3

今回の学校評価で最も低い項目が、17番「テレビ・ゲーム・ネット動画の視聴時間の設定」(保護者65.8 児童80.3 教員91.9)です。先日配布しました小中一貫教育リーフレット『5年間の取組』でもスマホ保護者アンケートをもとに分析しています。QRコードから閲覧可能ですので、是非ご覧ください。さらに来年度へ向けての重要課題として取り組んでまいります。

◆ 学校関係者評価結果

○学習指導、生活指導をはじめ、学校の取組全般において、保護者及び児童から肯定的な評価が得られている。

○実際に通学時の子どもたちの様子を見ることがあるが、安全に気をつけ好ましい生活態度である。

○コロナ禍における教育活動の対策と工夫が随所に見られ、衛生環境が整えられている。

☆学校評価にご協力いただきありがとうございました。